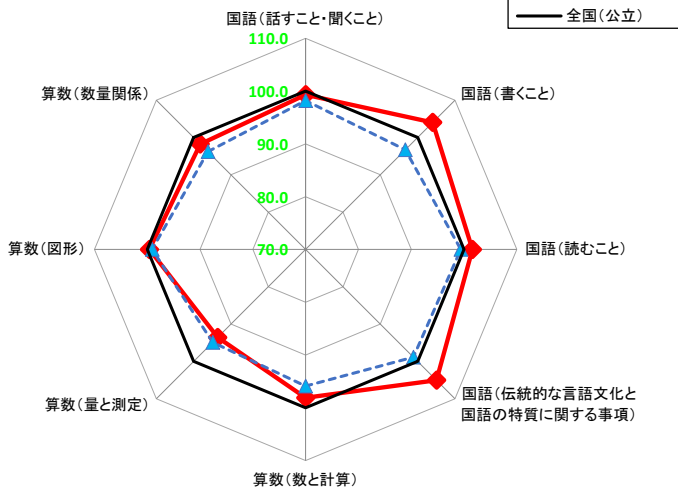


# ■ 函館市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 42校、児童数: 1561人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

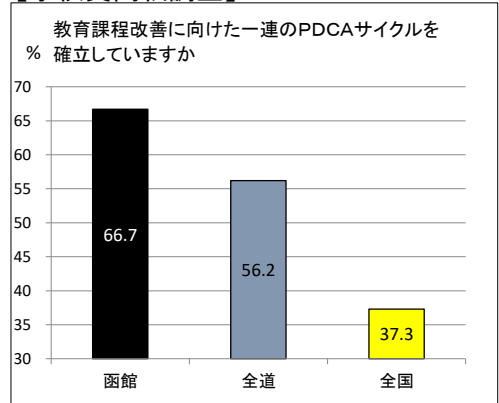
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



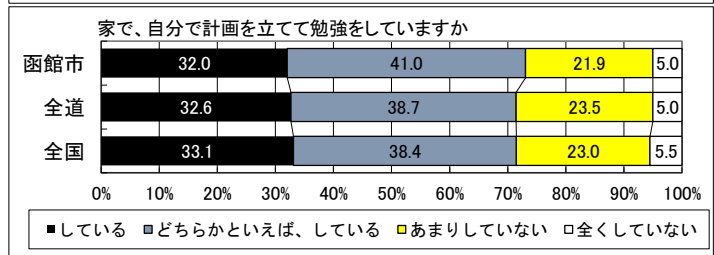
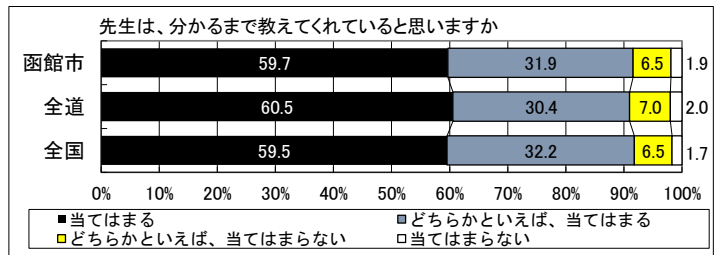
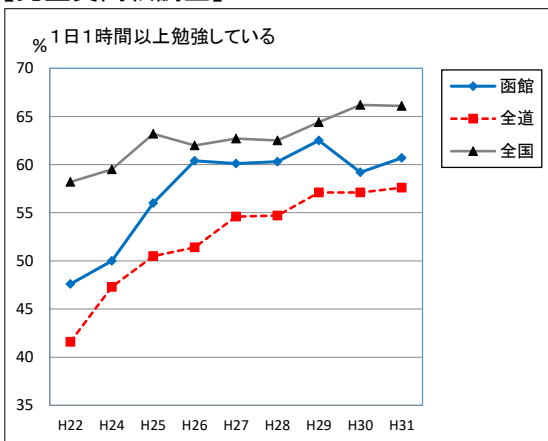
## 【函館市の平均正答率】

	国語	算数
函館市	65	65
全道	63	64
全国	63.8	66.6

## 【学校質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数において、全道を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「図形」が、全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程の改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、授業改善が推進され、学力が向上したと考えられる。</li> <li>○ 1日1時間以上学習している児童が前年度を上回ったものの、全国までには至らないため、家庭学習の充実に向けて取り組む必要がある。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生は、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が分かるまで粘り強く指導するとともに、児童が家で、自分で計画を立てて家庭学習に取り組む活動を推進した結果、家庭学習の習慣が定着し、基礎的・基本的な学力が定着したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教育課程改善に向けた一連のPDCAサイクルを確立した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

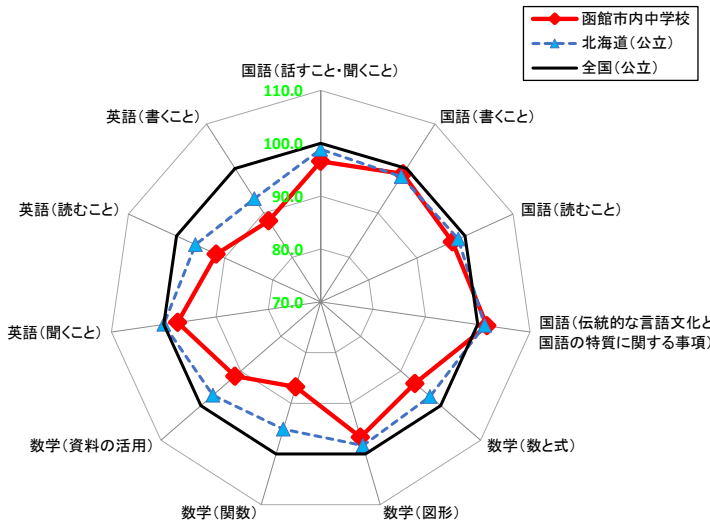
## 【函館市の学力向上策】

- ◎ 学校教育指導資料に基づく、各学校の組織的な教育活動の推進
- ◎ 各学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、校内研修の充実への支援
- ◎ 各種調査の分析及び学力向上に向けた効果的な指導方法等の研究の推進
- ◎ 小・中学校が連携し、共同で授業研究を行う取組の推進

# ■ 函館市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 21校、生徒数: 1599人)

## 【教科全体の状況】

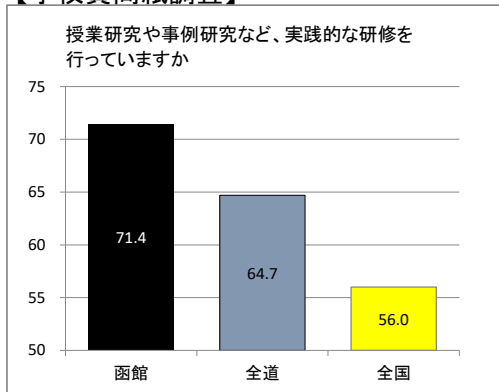
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



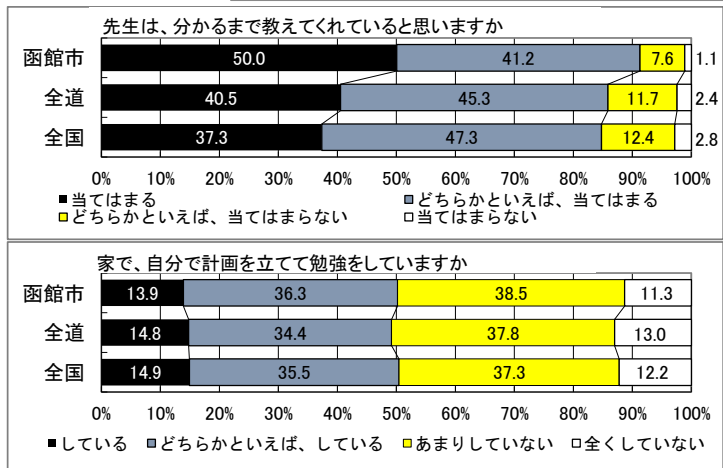
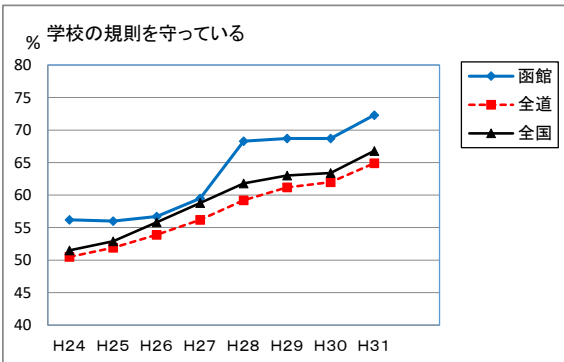
## 【函館市の平均正答率】

	国語	数学	英語
函館市	72	56	52
全道	72	58	54
全国	72.8	59.8	56.0

## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全道と同じである。</li> <li>○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、授業研究や事例研究など、実践的な研修を推進した結果、授業改善が進み、学力が向上したと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、教員が学校の規律の維持について徹底を図った結果、生徒が安心して学校生活や授業に臨むことができるようになり、生徒が主体性を発揮して学べる環境が構築できたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、生徒が分かるようになるまで粘り強く指導するとともに、個に応じた指導を積み重ねた結果、生徒の学習に対する意欲の向上につながり、家で、自分で計画を立てて学習に取り組む生徒が増加したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【函館市の学力向上策】

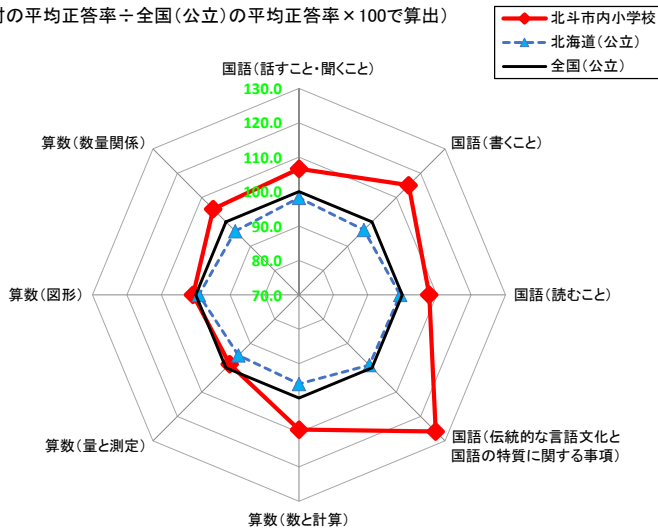
- ◎ 学校教育指導資料に基づく、各学校の組織的な教育活動の推進
- ◎ 各学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、校内研修の充実への支援
- ◎ 各種調査の分析及び学力向上に向けた効果的な指導方法等の研究の推進
- ◎ 小・中学校が連携し、共同で授業研究を行う取組の推進

# ■北斗市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:11校、児童数:421人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

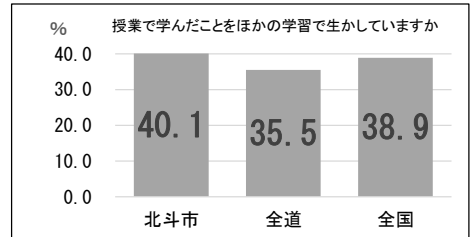
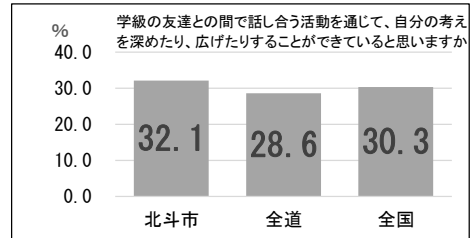
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



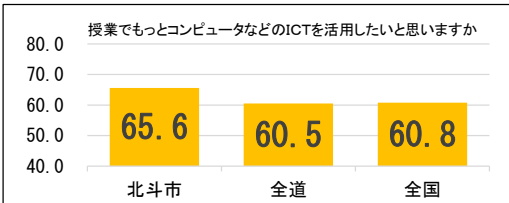
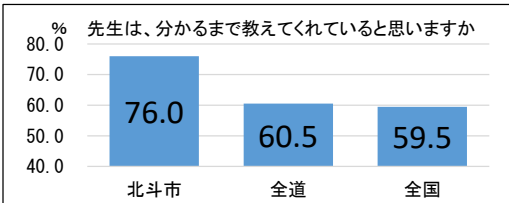
## ＜北斗市の平均正答率＞

国語	算数
73	69

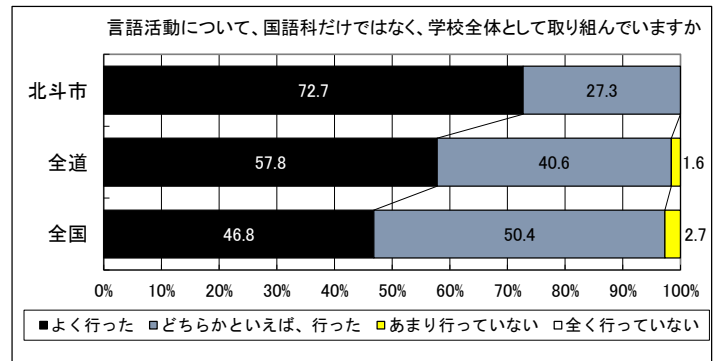
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、全領域で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数において、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んだ結果、授業に話し合いや発表の場が位置付けられ、児童が、自分の思考を深めたり、広げたりする機会が確保されたと考えられる。</li> <li>○ ICTを積極的に活用した学習活動を推進した結果、学習意欲が高まり、授業で学んだことをほかの学習に生かしたと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が分かるまで粘り強く指導した結果、基礎的・基本的な学力が定着したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

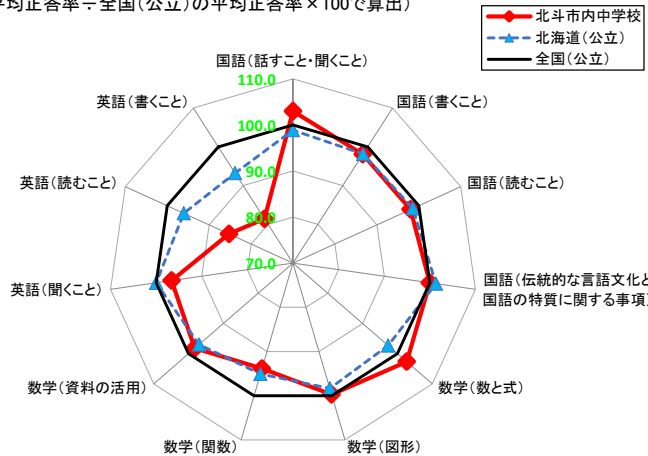
## 【北斗市の学力向上策】

- ◎ 「北斗市学力向上プラン」における各教科の平均正答率と下位層の数値目標の設定
- ◎ 学校改善プランによる長期的・短期的な検証改善サイクルの確立
- ◎ 中学校区における「生活・学習スタンダード」や家庭学習強調週間の設定、放課後・長期休業中の補充的な学習サポートの実施
- ◎ 少人数指導教員・複式学級補助教員・学習支援員の配置やICT機器の充実

# ■北斗市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:399人)

## 【教科全体の状況】

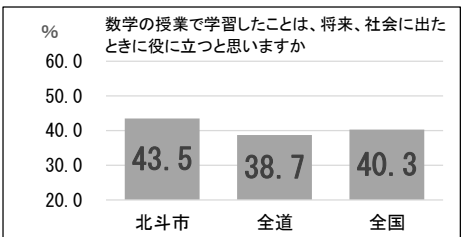
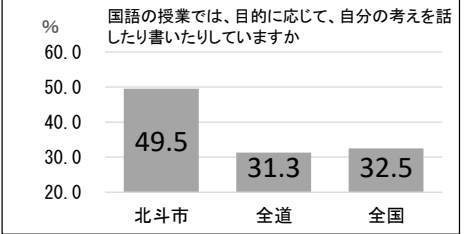
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



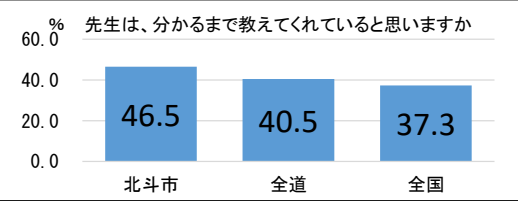
## ＜北斗市の平均正答率＞

国語	数学	英語
73	60	50

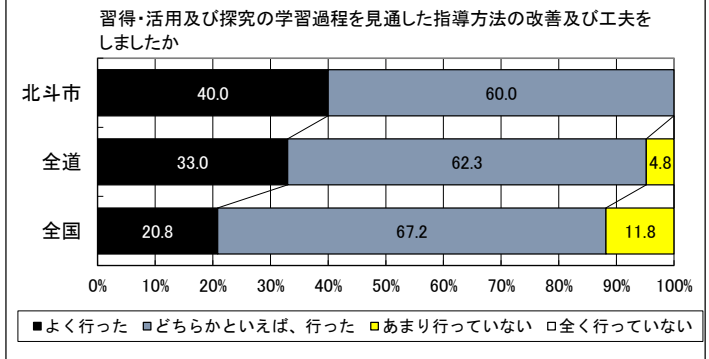
## 【生徒質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国と同じである。</li> <li>○ 数学では、「数と式」で全国を上回り、「図形」「資料の活用」で全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした結果、学習意欲が高まり、生徒が家で、自分で計画を立てて学習に取り組む活動が推進し、基礎的・基本的な学力が定着したと考えられる。</li> <li>○ 数学の授業において、生徒に学習の必要感を感じさせたり、分かるまで粘り強く指導した結果、数学の平均正答率の向上に結びついたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校区における「生活・学習スタンダード」を設定し、取組を充実させた結果、9年間を見通して児童生徒を育成する意識を高めることができた。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

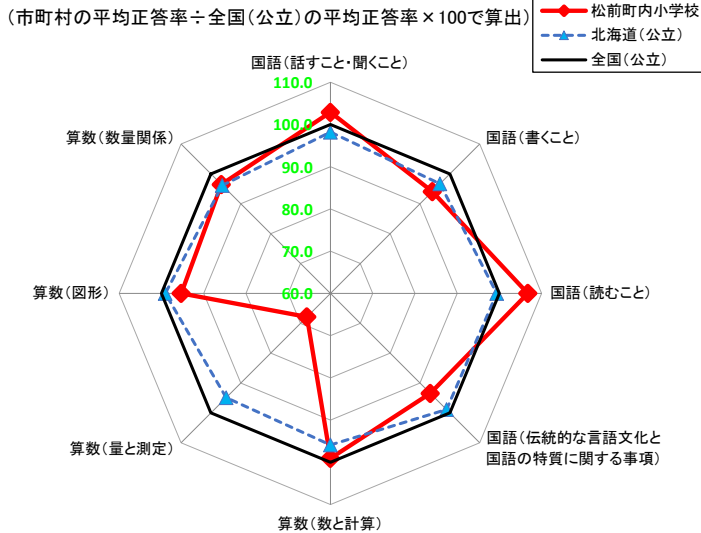
## 【北斗市の学力向上策】

- ◎ 「北斗市学力向上プラン」における各教科の平均正答率と下位層の数値目標の設定
- ◎ 学校改善プランによる長期的・短期的検証改善サイクルの確立
- ◎ 中学校区における「生活・学習スタンダード」や家庭学習強調週間の設定、放課後・長期休業中の補足的な学習サポートの実施
- ◎ 少人数指導教員・複式学級補助教員・学習支援員の配置やICT機器の充実

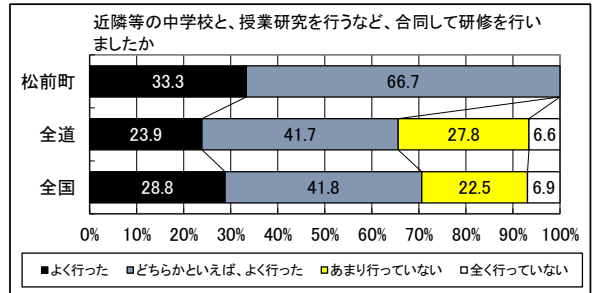
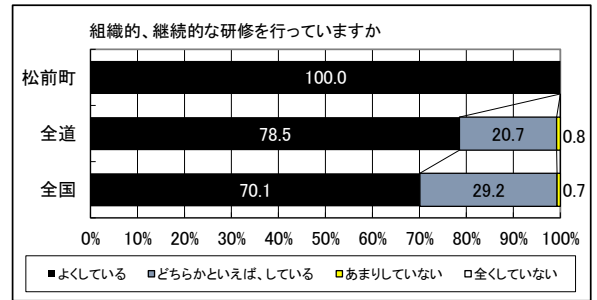
# ■ 松前町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:3校、児童数:26人)

## 【教科全体の状況】

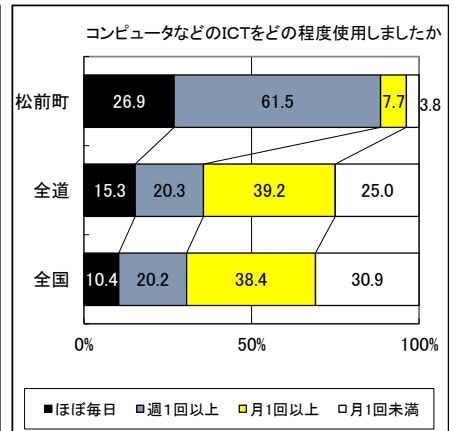
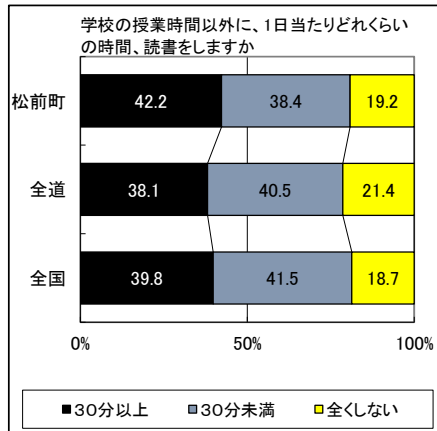
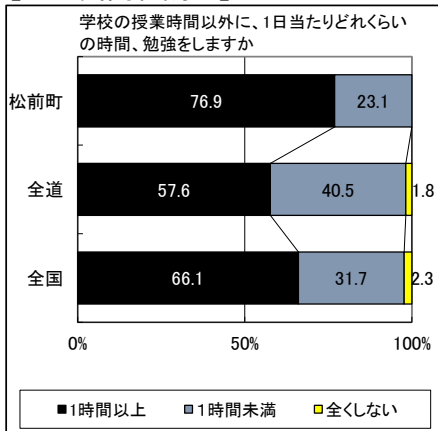
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの



## 【学校質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ町内の中学校と授業研究を行うなど、合同して研修を行うとともに、中学校と連携して家庭学習週間を設定した結果、家庭学習及び読書の時間の増加につながったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「学校の授業時間以外に、1日当たり30分以上読書する」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「コンピュータなどのICTをほぼ毎日使用した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、授業改善が推進し、基礎的・基本的な学習内容の定着に結び付いたと考えられる。</li> <li>○ コンピュータなどのICTを活用した結果、子どもの学習に対する興味・関心を高めるとともに、学習した内容の定着につながる授業改善が推進されたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、「組織的、継続的な研修を実施した」と回答している。</li> </ul>	

## 【松前町の学力向上策】

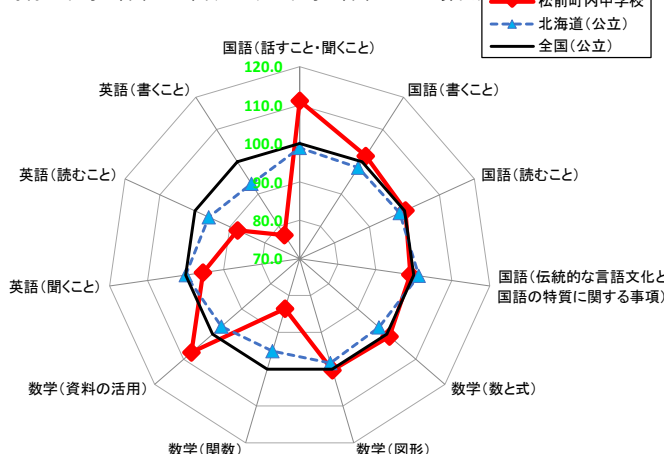
- ◎ 「松前町学力向上アクションプラン」ターゲット29+2に基づいた学習規律の徹底や小中連携した家庭学習週間の設定などの取組の推進
- ◎ 「松前っ子3リズム」運動と連携したスマートフォン・携帯電話の使用についての家庭におけるルールづくりの推進
- ◎ タブレット端末の導入、学習支援ソフトの導入などICT機器導入による効果的な学習活動の推進

# ■松前町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:41人)

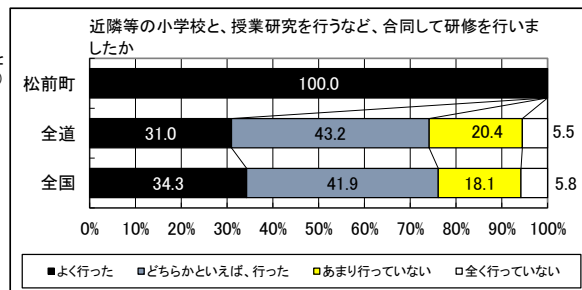
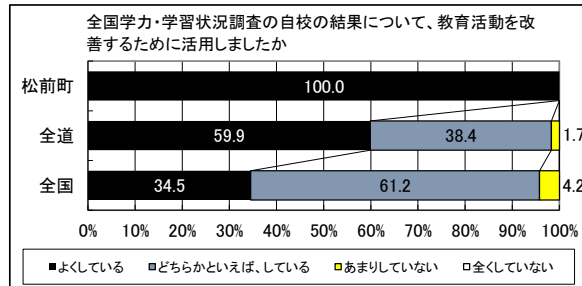
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

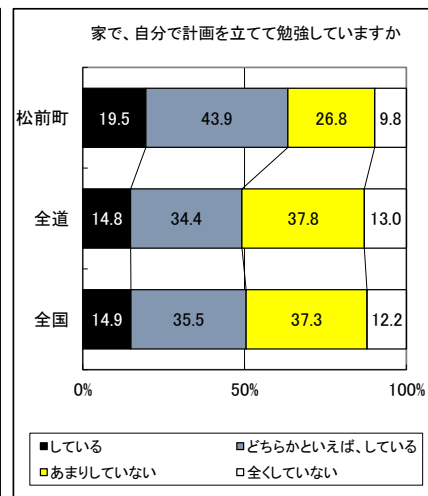
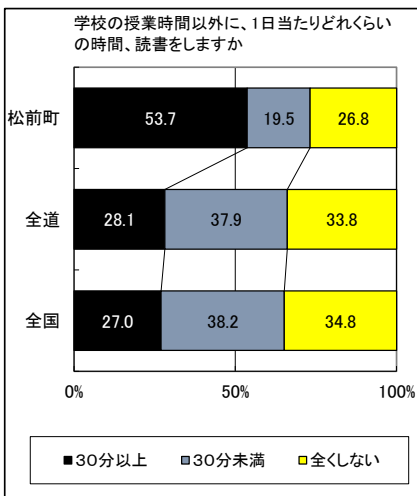
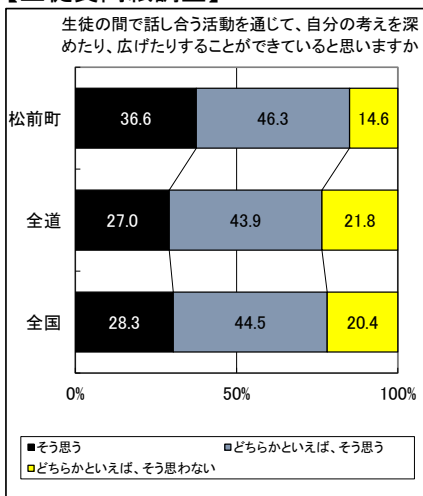
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語、数学において全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した結果、授業改善が図られ、国語及び数学の基礎的・基本的な学習内容の定着につながったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合う活動の充実を図った結果、生徒が話し合いを通じて考えを深めたり広げたりすることのよさを実感し、国語の「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の授業時間以外でも読書する習慣を定着させた結果、国語の「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>

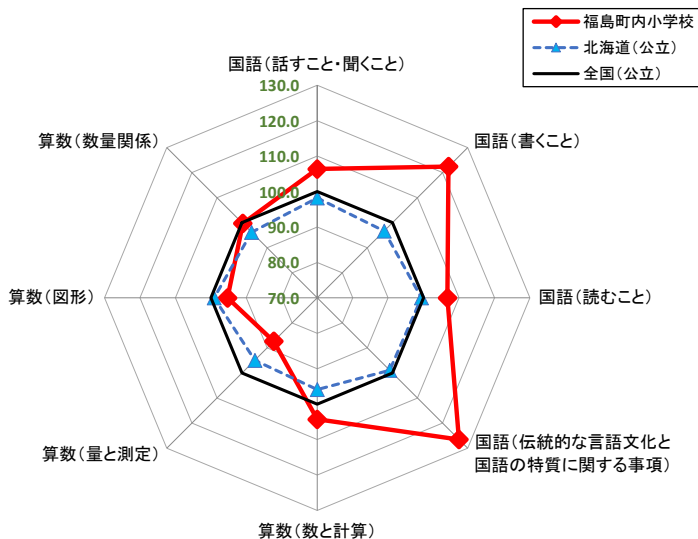
## 【松前町の学力向上策】

- ◎ 「松前町学力向上アクションプラン」ターゲット29+2に基づいた学習規律の徹底や小中連携した家庭学習週間の設定などの取組の推進
- ◎ 「松前っ子3リズム」運動と連携したスマートフォン・携帯電話の使用についての家庭におけるルールづくりの推進
- ◎ タブレット端末の導入、学習支援ソフトの導入などICT機器導入による効果的な学習活動の推進

# ■福島町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:13人)

## 【教科全体の状況】

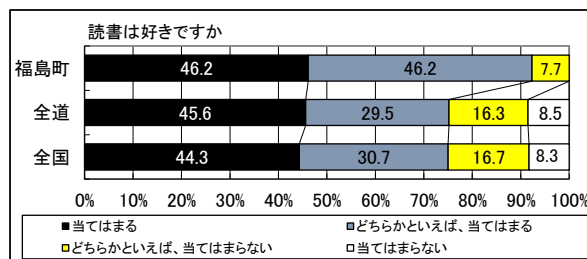
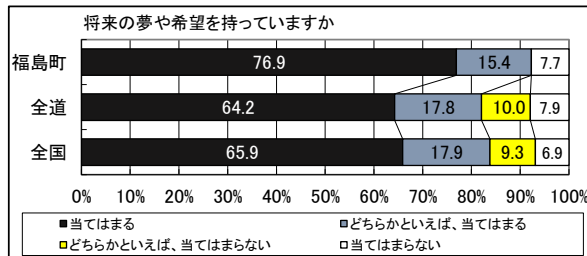
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



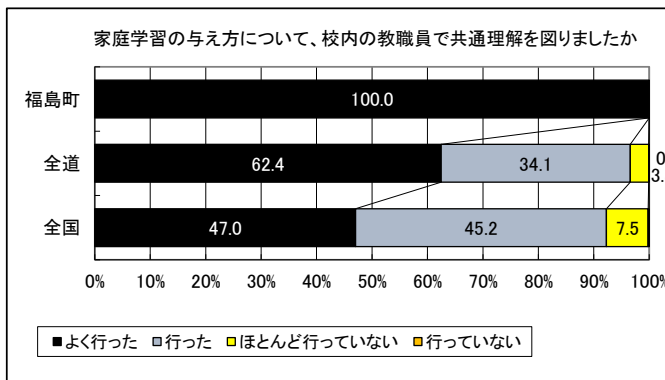
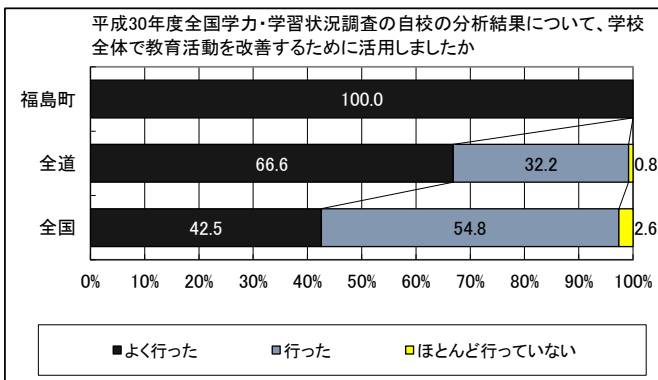
## ＜福島町の平均正答率＞

国語	算数
74	65

## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有し、課題が見られる単元や領域について計画的に指導した結果、学力向上に結び付いたと考えられる。</li> <li>○ 読書習慣を定着させた結果、国語の「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体的に挙げながら教えた結果、基礎的・基本的な学力が定着したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、「平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答している。</li> </ul>	

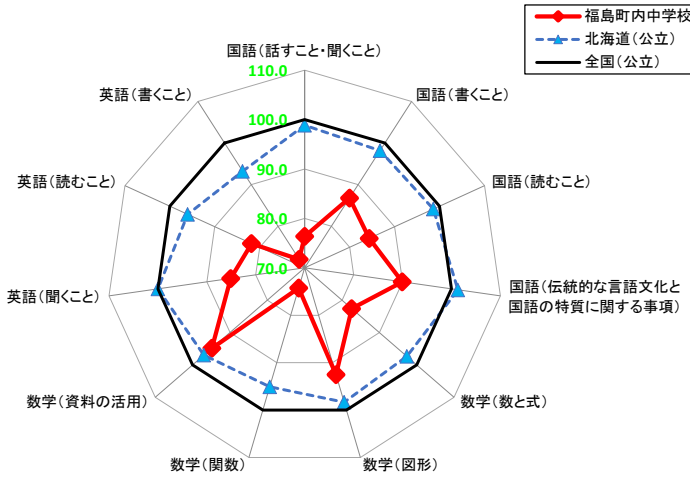
## 【福島町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎ 思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎ ティーム・ティーチングによる習熟の程度に応じた少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの強化

# ■ 福島町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 23人)

## 【教科全体の状況】

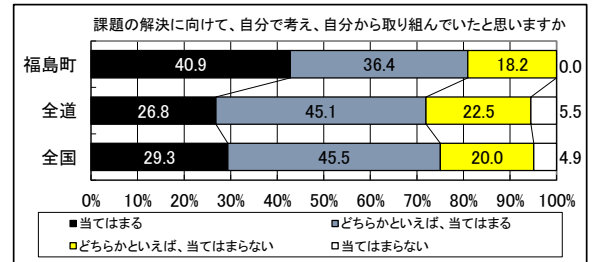
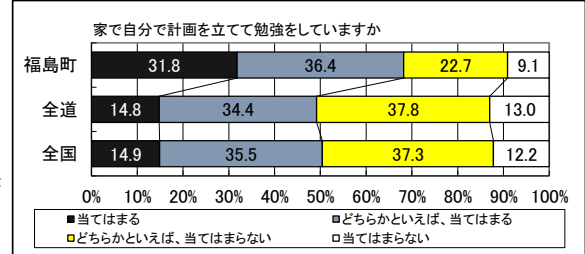
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



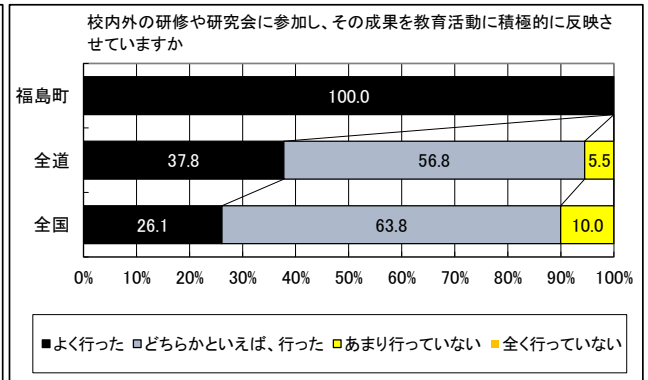
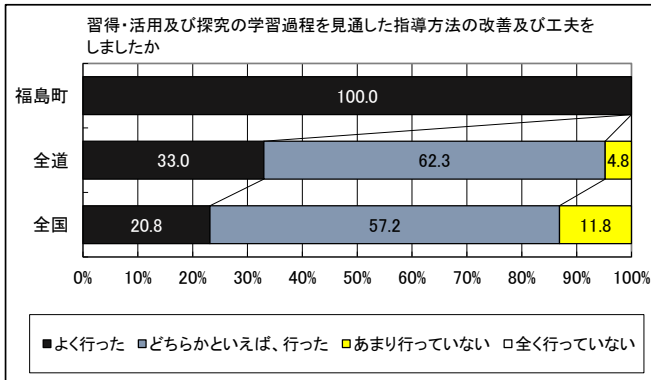
## ＜福島町の平均正答率＞

国語	数学	英語
61	52	45

## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、校内で授業改善が推進し、学力が向上したと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートを強化した結果、家で自分で計画を立てて勉強する生徒が増加したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させた結果、授業改善が推進され、生徒が課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと考えられる。</li> </ul>

## 【福島町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎ 思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎ 町費負担教諭配置による習熟の程度に応じた少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの強化

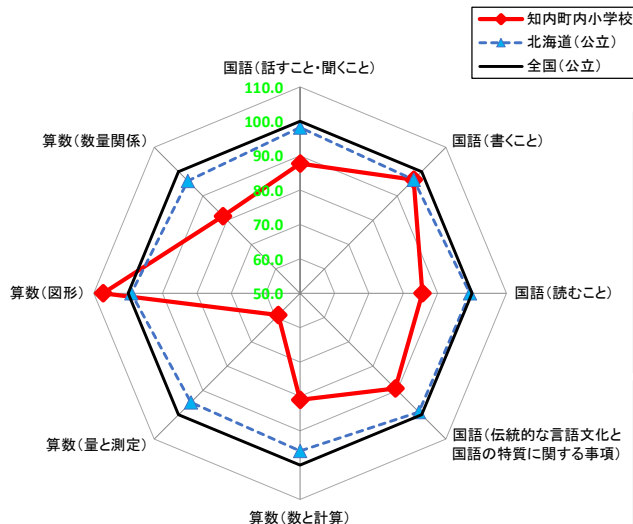


# ■ 知内町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 3校、児童数: 31人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

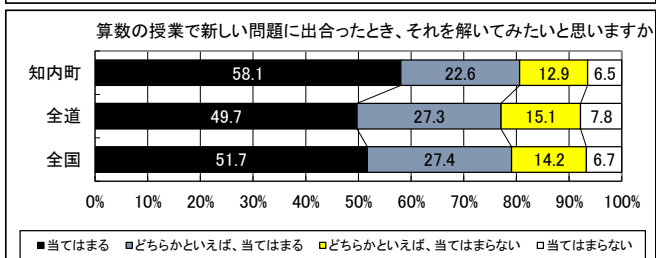
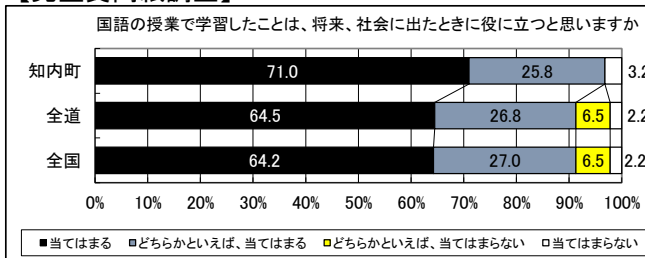
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



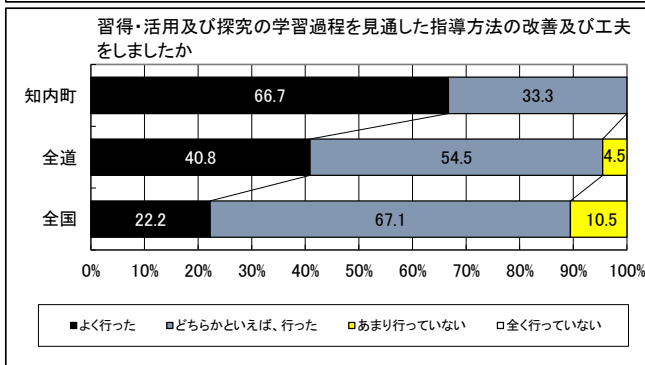
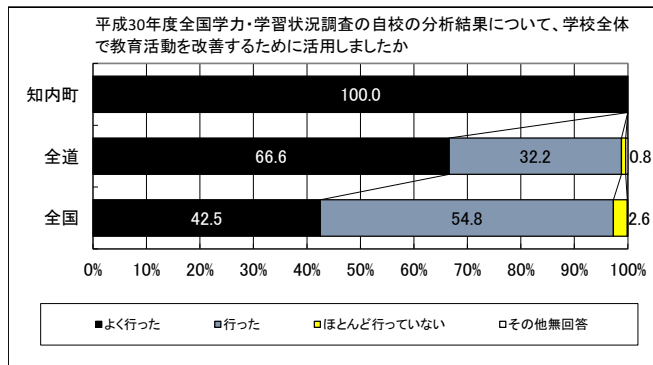
## ＜知内町の平均正答率＞

国語	算数
57	55

## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した結果、習得・活用を意識した授業改善が図られたと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした結果、新しい問題の解決に向けた意欲が向上したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、「平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知内町学びの充実検討委員会を中心とした校種間連携による学力向上に向けた取組を共通化した結果、基礎的、基本的な学習内容の定着に結び付いたと考えられる。</li> </ul>

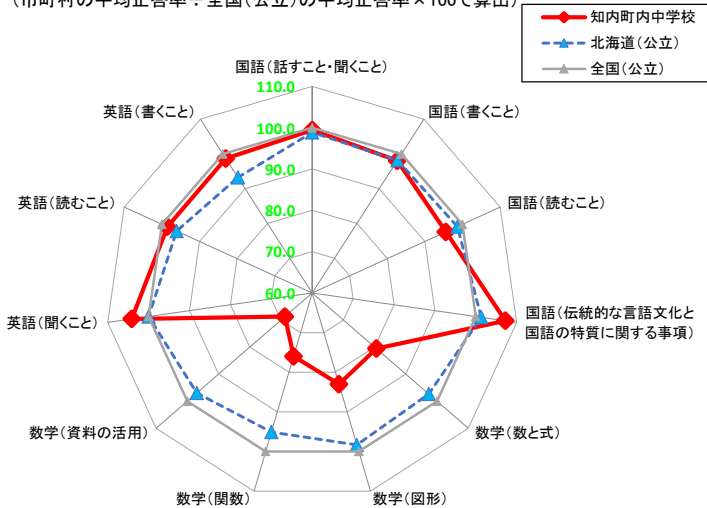
## 【知内町の学力向上策】

- ◎ 各校における「学校改善プラン」に基づく教育活動の改善・充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査やCRT・NRT等の結果分析による課題の明確化と改善に向けた取組の充実
- ◎ 知内町PTA連合会と連携した「知内町スマホ・メディアルール」の策定と生活習慣改善に向けた取組の充実
- ◎ 知内町学びの充実検討委員会を中心とした、校種間連携による学力向上に向けた取組の共通化

# ■ 知内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:42人)

## 【教科全体の状況】

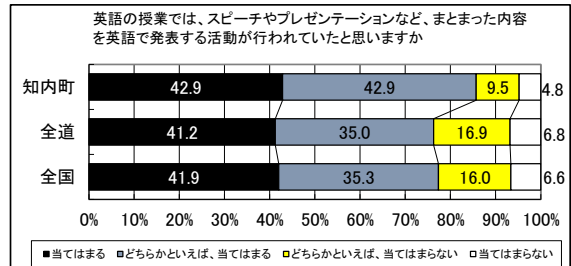
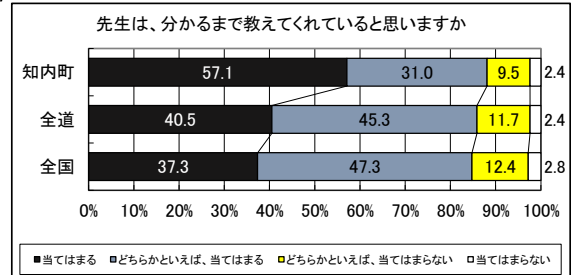
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



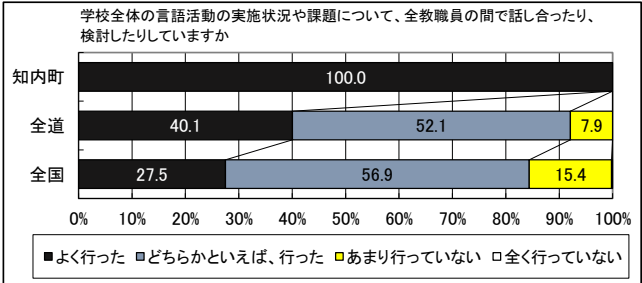
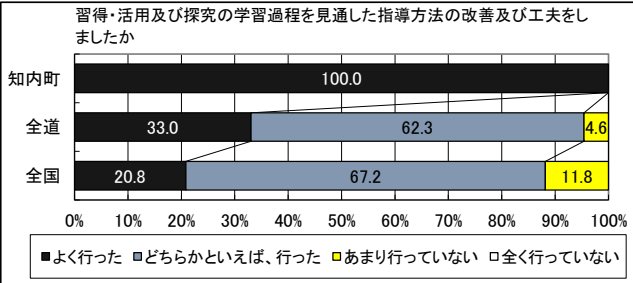
## ＜知内町の平均正答率＞

国語	数学	英語
72	47	56

## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語において、全国と同じである。</li> <li>○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行うとともに、生徒が分かるまで粘り強く指導した結果、学力向上に結び付いたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校全体の言語活動について、全教職員で話し合ったり検討したりした結果、国語の学力向上につながったと考えられる。</li> <li>○ 英語の授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動を行った結果、英語の基礎的・基本的な学力が定着したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。」と回答している。</li> </ul>	

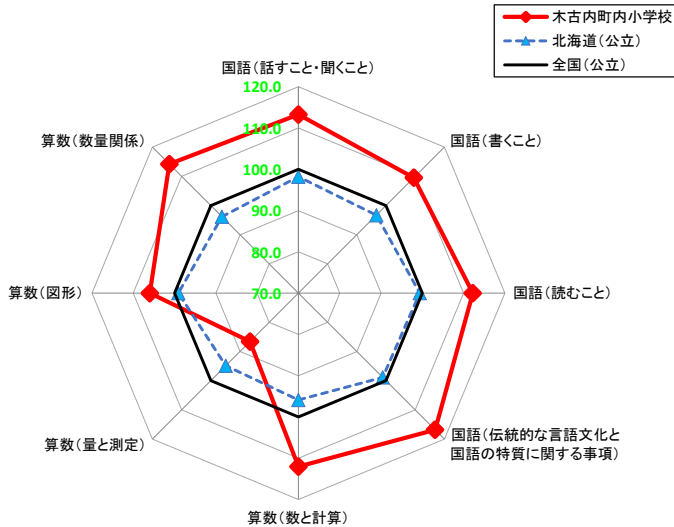
## 【知内町の学力向上策】

- ◎ 各校における「学校改善プラン」に基づく教育活動の改善・充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査やCRT・NRT等の結果分析による課題の明確化と改善に向けた取組の充実
- ◎ 知内町PTA連合会と連携した「知内町スマホ・メディアルール」の策定と生活習慣改善に向けた取組の充実
- ◎ 知内町学びの充実検討委員会を中心とした、校種間連携による学力向上に向けた取組の共通化

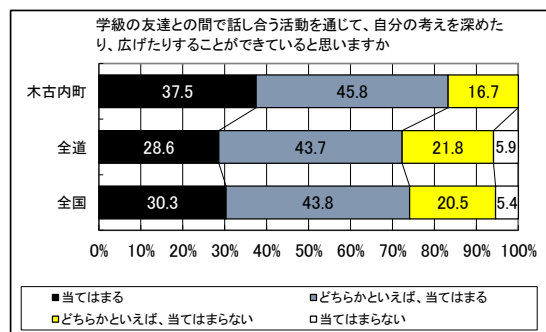
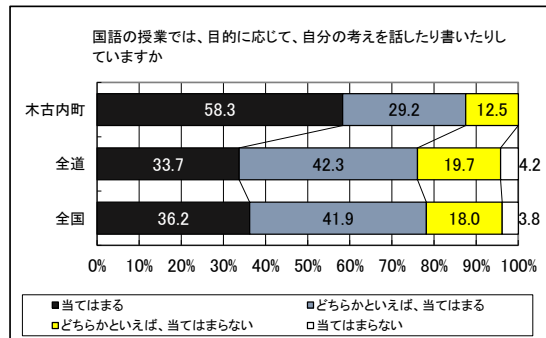
# ■木古内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:24人)

## 【教科全体の状況】

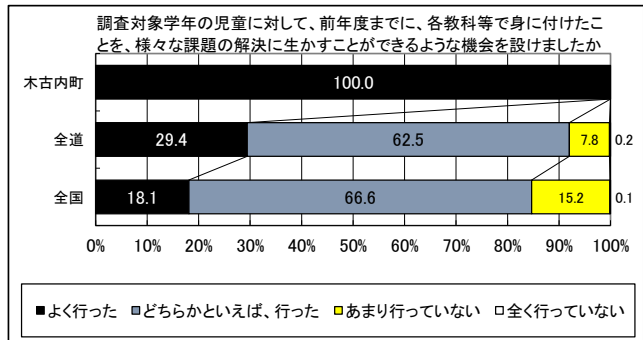
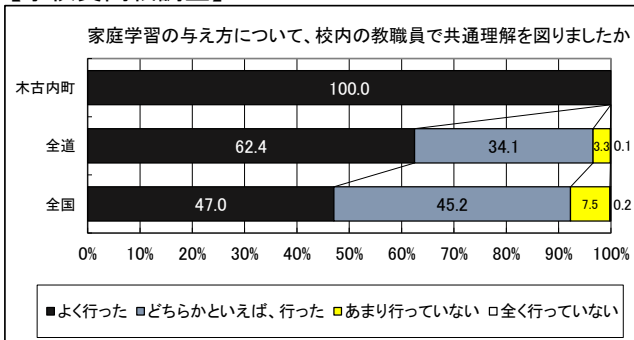
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、全ての領域において、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った結果、学校全体としての手立てが共有化され、国語、算数における基礎的・基本的な学力の向上につながったと考えられる。</li> <li>○ 国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりさせた結果、「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた結果、学習意欲が高まり、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解をよく図った。</li> </ul>	

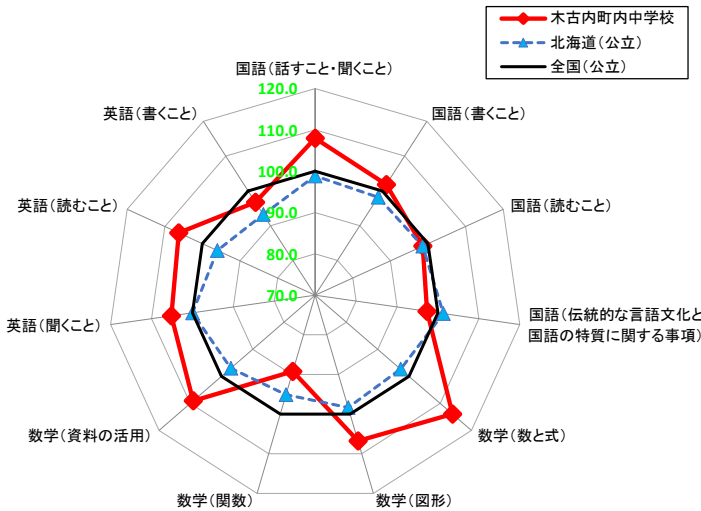
## 【木古内町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析結果に基づく家庭での生活習慣、学習習慣の定着を呼びかけるパンフレットの全保護者への配付
- ◎ 複数指導や習熟の程度に応じた指導等、きめ細かな少人数指導の推進
- ◎ 加配教員や町が配置した特別支援員の効果的な活用による学習指導の充実
- ◎ 放課後補充学習(「ちょこ勉」)に全児童の参加が定着

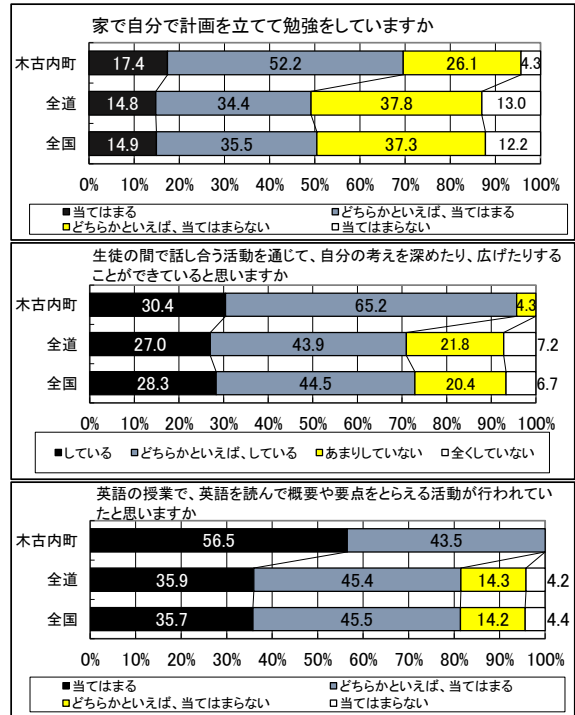
# ■木古内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:22人)

## 【教科全体の状況】

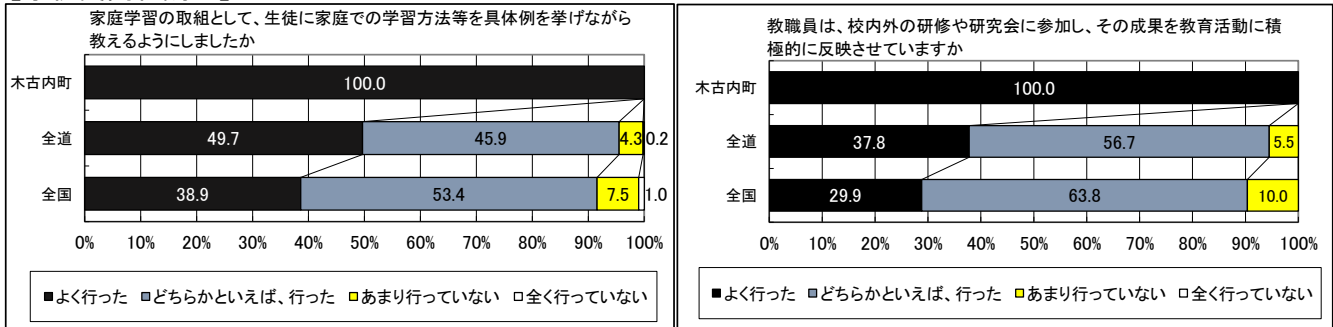
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学において、全国を上回っている。</li> <li>○ 英語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」、英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら指導した結果、生徒が自分で計画を立てて学習をするようになり、基礎的・基本的な学力の定着につながったと考えられる。</li> <li>○ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりした結果、生徒の学習に対する意欲や興味関心を喚起することができたと考えられる。</li> <li>○ 英語の授業で、英語を読んで概要や要点をとらえる活動を行った結果、英語の読解における基礎的・基本的な学力が向上したと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした割合が、全国を上回っている。	

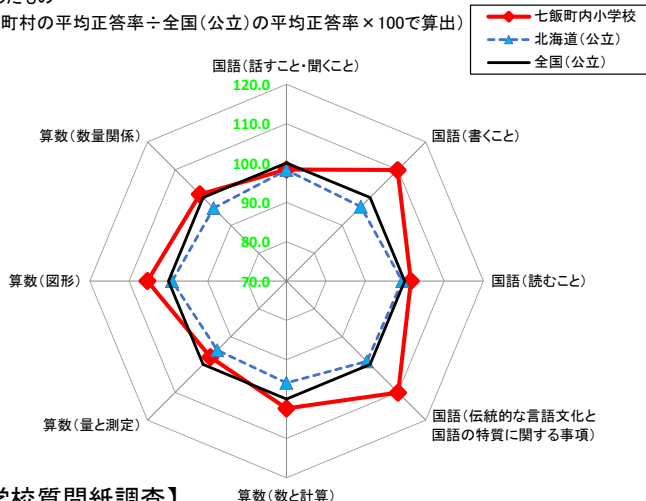
## 【木古内町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析結果に基づく家庭での生活習慣、学習習慣の定着を呼びかけるパンフレットの全保護者への配付
- ◎ 複数指導や習熟の程度に応じた指導等、きめ細かな少人数指導の推進
- ◎ 加配教員や町が配置した特別支援員の効果的な活用による学習指導の充実

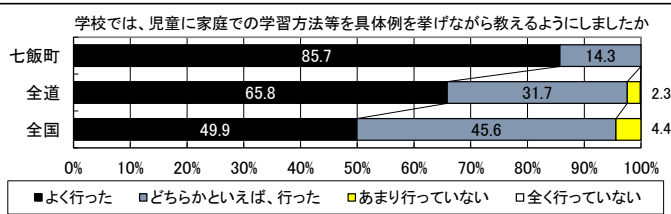
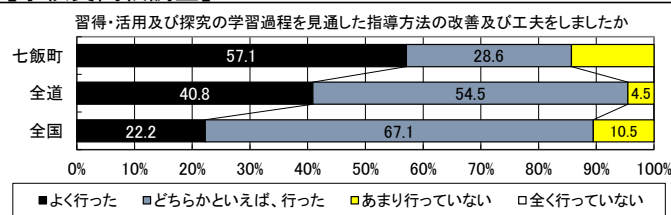
# ■七飯町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、児童数:227人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【学校質問紙調査】

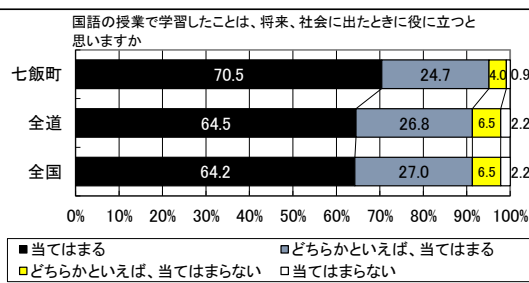
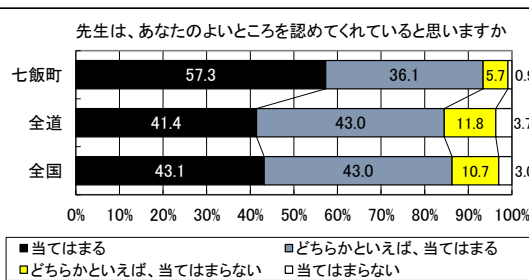
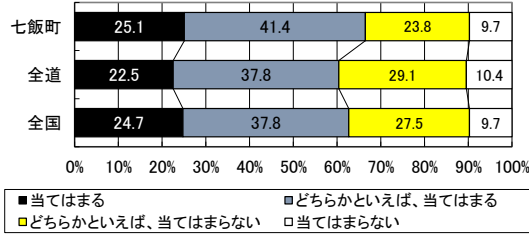


## ＜七飯町の平均正答率＞

教科	平均正答率
国語	67
算数	68

## 【児童質問紙調査】

自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、授業改善が進み、国語、算数で全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた結果、家庭での学習習慣が定着し、学力が向上したと考えられる。</li> <li>○ 「学校改善プラン」に基づく取組を徹底した結果、授業改善が推進し、自分の考えを発表する機会に、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することができるようになったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【七飯町の学力向上策】

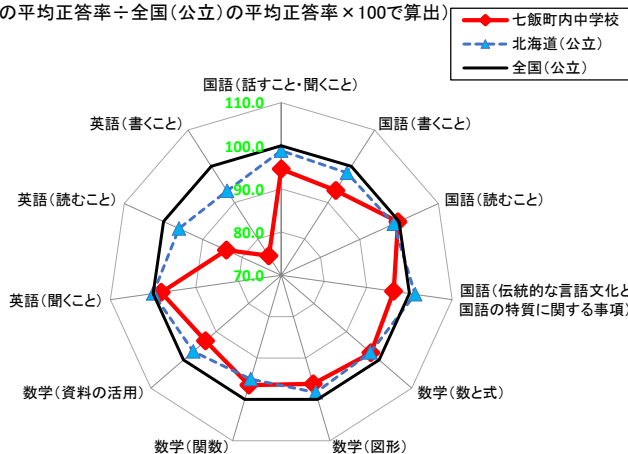
- ◎ 各学校の「学校改善プラン」に基づく取組への支援
- ◎ 「七飯町家庭学習の手引」の配付と家庭と連携した取組の推進
- ◎ ICT機器の積極的な活用による効果的な学習活動の推進
- ◎ 町が配置する学習支援員によるきめ細かな学習指導の充実

# ■七飯町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:214人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

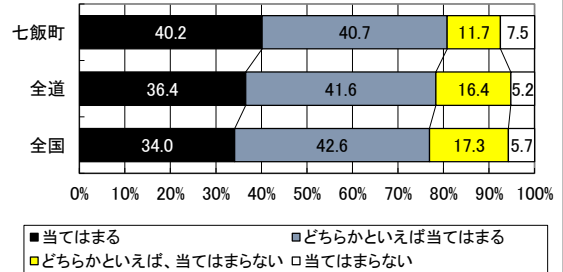


## ＜七飯町の平均正答率＞

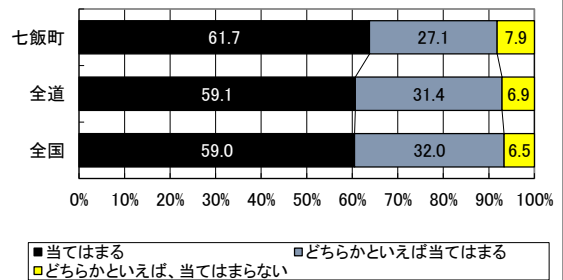
国語	数学	英語
70	57	49

## 【生徒質問紙調査】

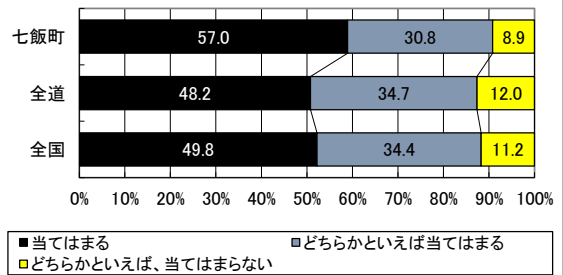
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか



国語の勉強は大切だと思いますか

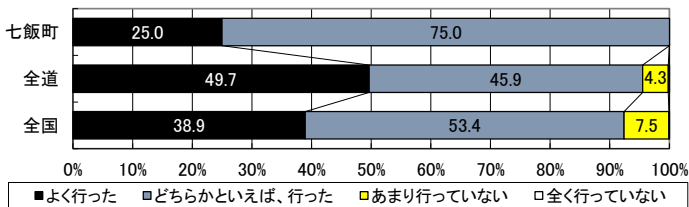


数学の勉強は大切だと思いますか

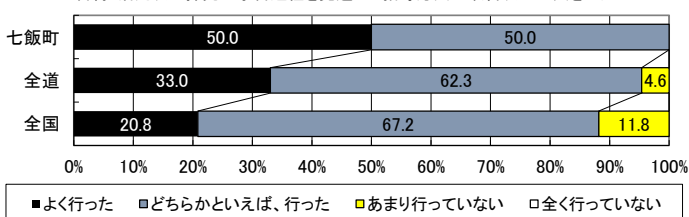


## 【学校質問紙調査】

家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか



習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 数学では、「関数」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした結果、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。</li> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った結果、校内で授業改善が推進し、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組むことができた。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国語の勉強は大切だ」「数学の勉強は大切だ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ ICT機器を積極的に活用した学習活動を推進した結果、学習意欲が高まり、学習が大切だと自覚する生徒が増加したと考えられる。</li> </ul>	

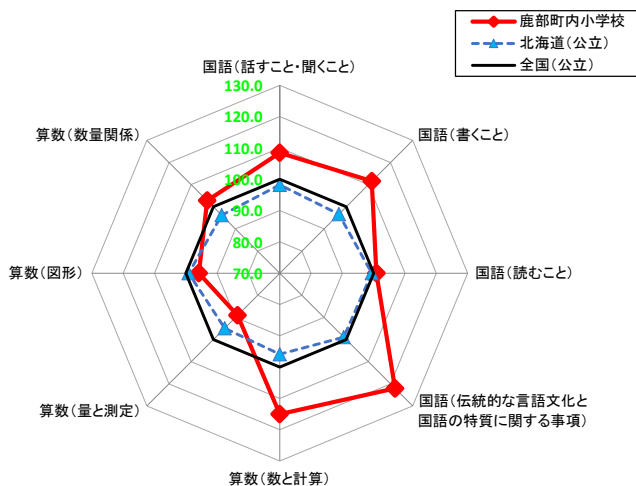
## 【七飯町の学力向上策】

- ◎ 各学校の「学校改善プラン」に基づく取組への支援
- ◎ 「七飯町家庭学習の手引」の配付と家庭と連携した取組の推進
- ◎ ICT機器の積極的な活用による効果的な学習活動の推進
- ◎ 町が配置する学習支援員によるきめ細かな学習指導の充実

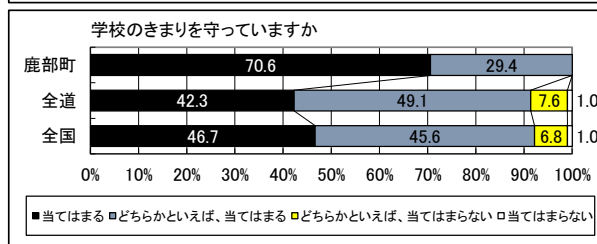
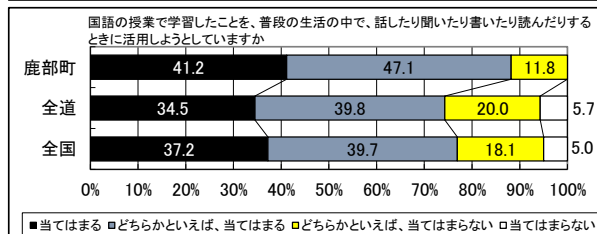
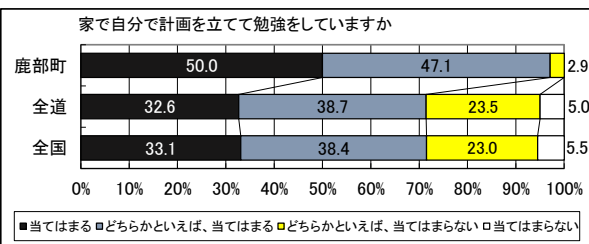
# 鹿部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:34人)

## 【教科全体の状況】

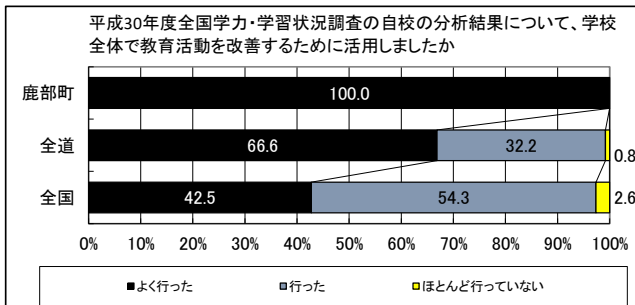
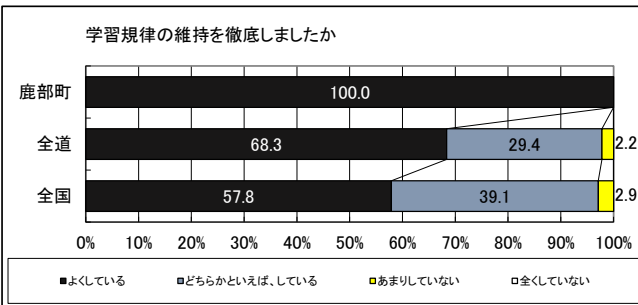
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した結果、学校全体で組織的に授業改善が進み、国語、算数の学力の向上につながったと考えられる。</li> <li>○ 校内で学習規律の維持を徹底した結果、学校のきまりを守っているという児童が増加し、安心して学習に取り組む環境が確立したと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鹿部町教育研究所を核とした幼・小・中の教員による合同研修を行うなど一貫した教育活動の推進に取り組んで結果、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用するなど、学校として組織的に授業改善に取り組んでいる。</li> </ul>	

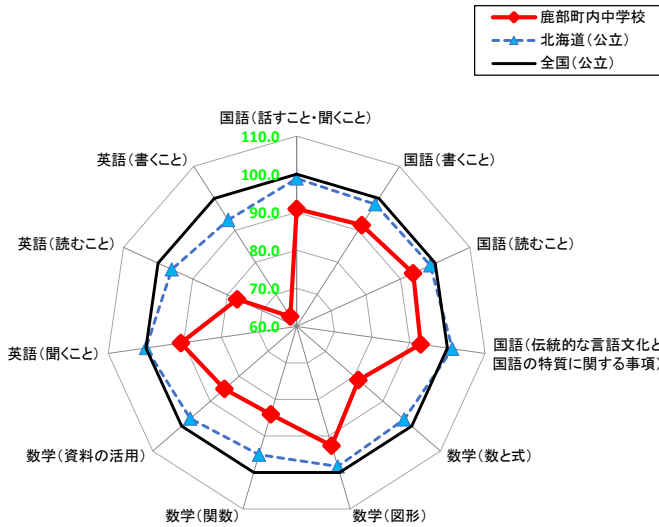
## 【鹿部町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった基礎学力の定着に向けた習熟度別少人数指導、補充的な学習サポートの実施
- ◎ 鹿部町教育研究所を核とした幼稚園、小学校、中学校の教職員による合同研修及び連携、一貫した教育活動の推進
- ◎ タブレットPCや電子黒板などのICT機器を活用した教育環境の整備
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備

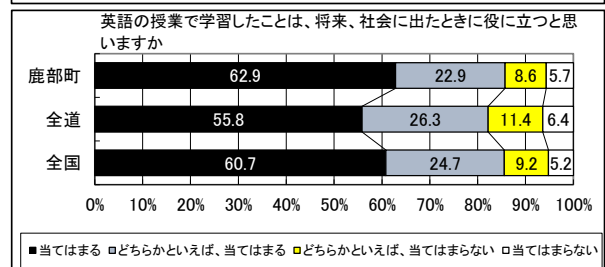
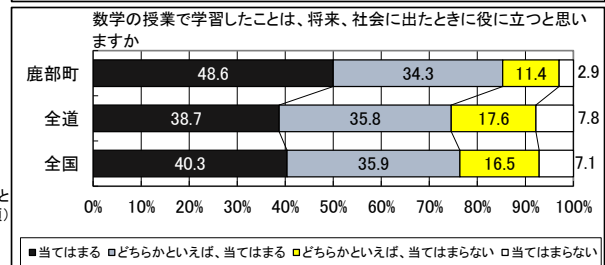
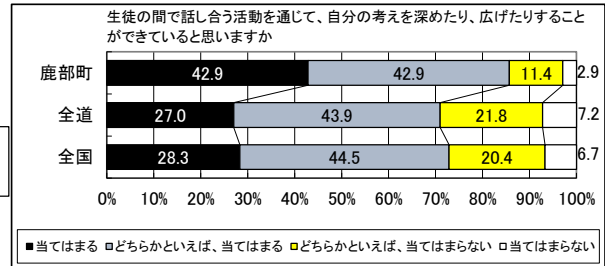
# 鹿部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:35人)

## 【教科全体の状況】

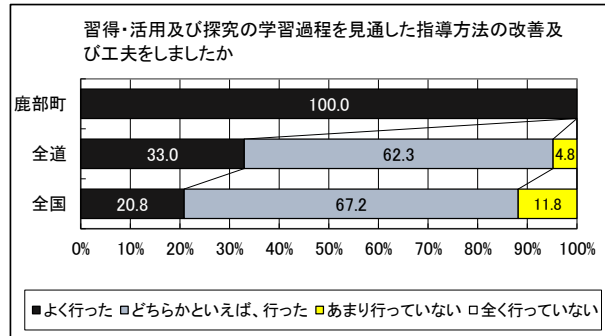
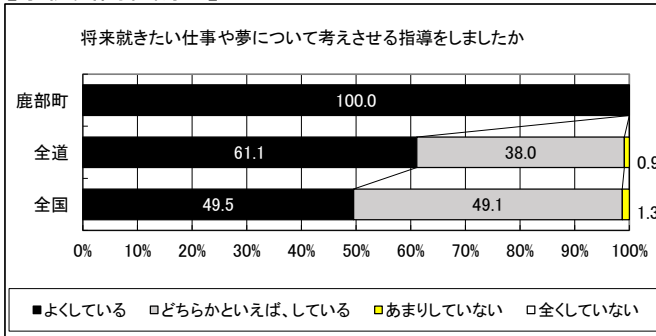
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする取組を授業内に位置付けた結果、「できる・分かる」を実感できる授業改善が進められ、学力の向上につながったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした結果、数学、英語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと考える生徒が増加し、授業への興味や関心、意欲を高めることに結び付いたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした結果、授業改善に向けた取組が進み、生徒の学習意欲が向上したと考えられる。</li> </ul>

## 【鹿部町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会を中心とした基礎学力の定着に向けた習熟度別少人数指導、補充的な学習サポート
- ◎ 鹿部町教育研究所を核とした幼稚園、小学校、中学校の教職員による合同研修及び連携、一貫した教育活動の推進
- ◎ タブレットPCや電子黒板などのICT機器を活用した教育環境の整備
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備

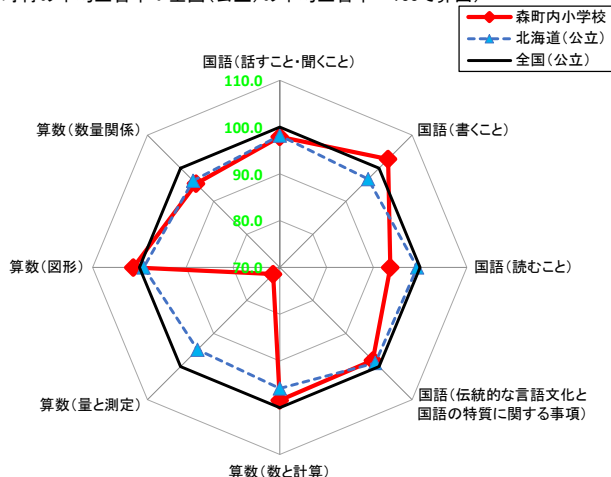


# ■森町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:112人)

## 【教科全体の状況】

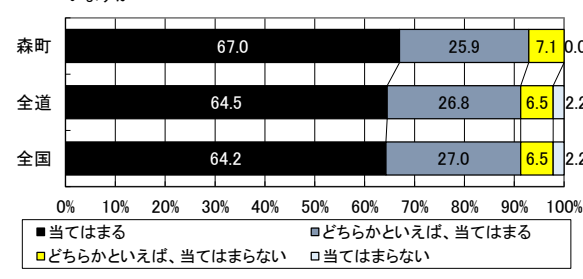
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

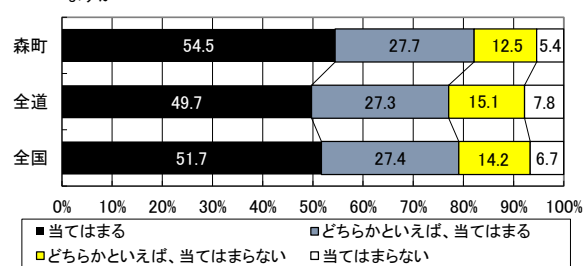


## 【児童質問紙調査】

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

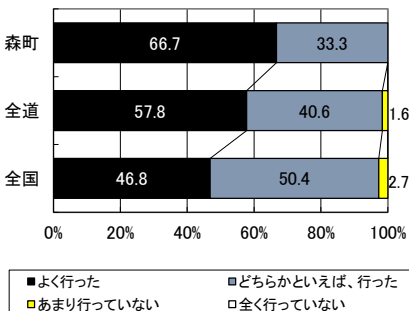


算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか

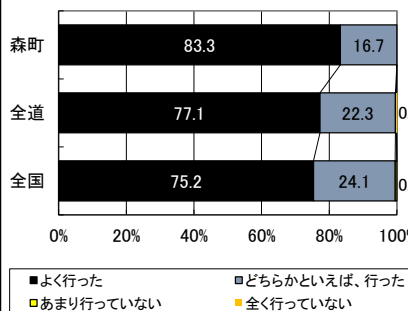


## 【学校質問紙調査】

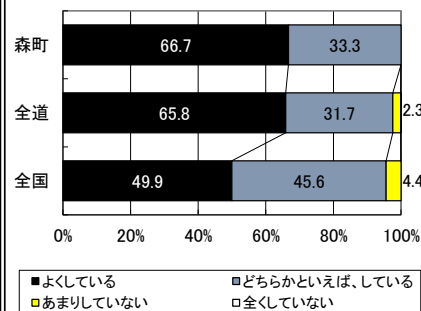
言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいますか



授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「書くこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んだことにより、国語の授業で学習したことが将来、役に立つという思いが育成され、国語の「書くこと」の向上につながったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行った結果、学校全体の授業改善が進み、国語や算数の基礎的・基本的な学習内容の定着につながったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた結果、児童の学習意欲が高まるとともに、家庭学習の習慣が身に付いたと考えられる。</li> </ul>

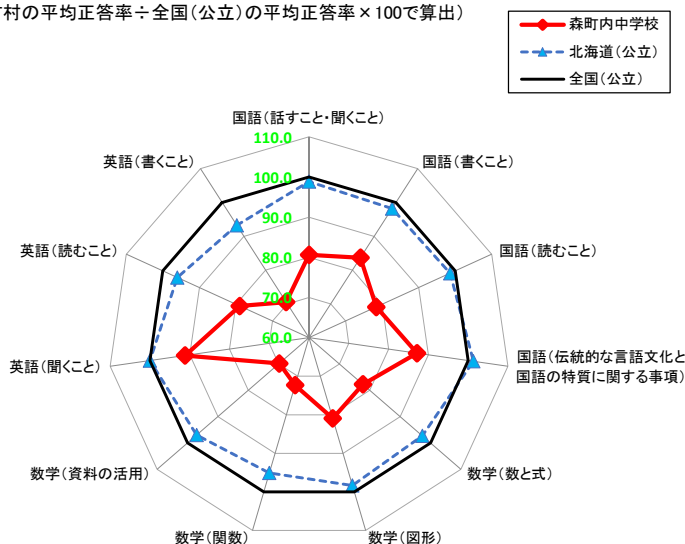
## 【森町の学力向上策】

- ◎ 「学力向上3か年計画」に沿った、学校での学習指導体制の確立と授業改善の推進
- ◎ 家庭でのよりよい学習習慣や生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組の推進
- ◎ 第2～6学年に対するNRT検査の毎年度の実施及び経年分析による課題解決に向けた取組の推進

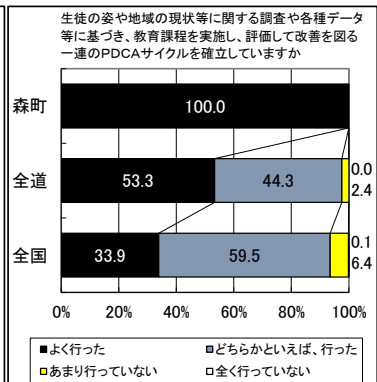
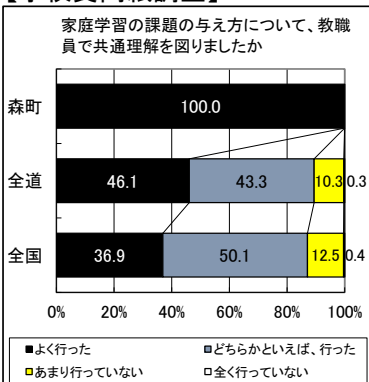
# ■森町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:139人)

## 【教科全体の状況】

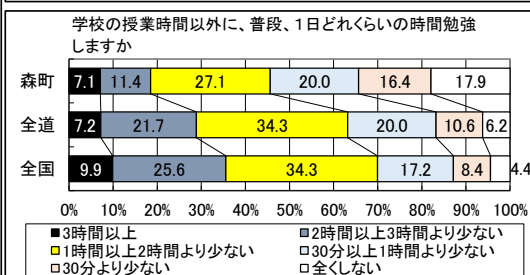
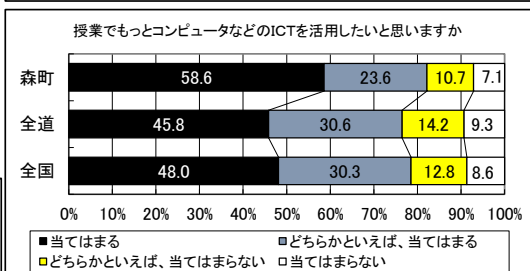
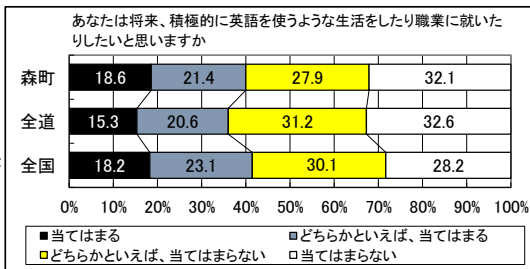
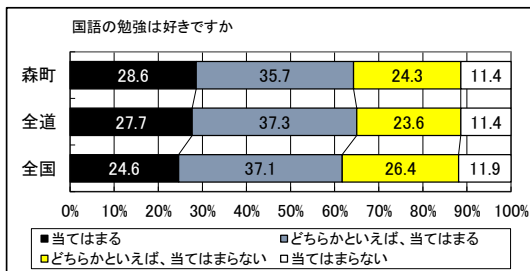
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を実施、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、授業改善が促進され、国語及び英語の学習を肯定的に捉える生徒が全国を上回るなど、学習意欲が向上したと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の与え方について、教職員で共通理解を図り取り組んだが、学校の授業時間以外に1時間以上学習している生徒の割合が全国及び全道を下回っていることから、今後も取組の徹底を図る必要がある。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、「生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業で積極的にICT活用を図るなどの授業改善を推進した結果、生徒はICTが学習に役に立つことを実感し、「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 【森町の学力向上策】

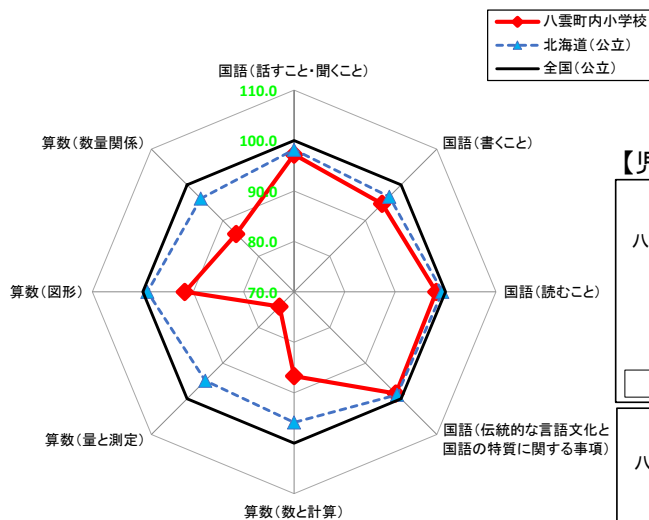
- ◎ 「学力向上3か年計画」に沿った、学校での学習指導体制の確立と授業改善の推進
- ◎ 家庭でのよりよい学習習慣や生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組の推進
- ◎ NRT検査を第1～3学年に対して毎年実施し、経年分析による課題解決に向けた取組の推進

# ■八雲町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:91人)

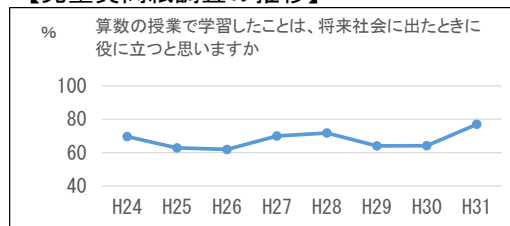
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

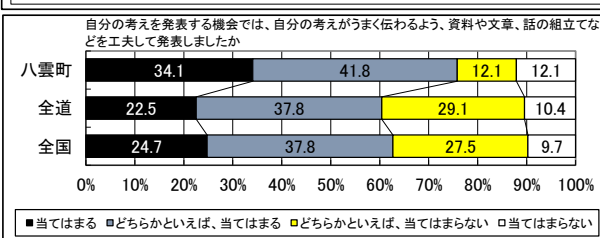
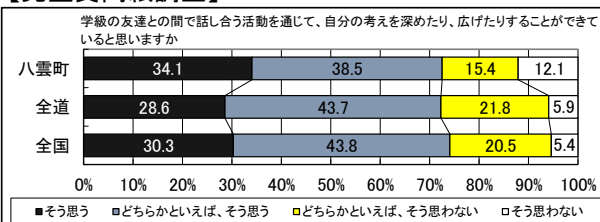
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



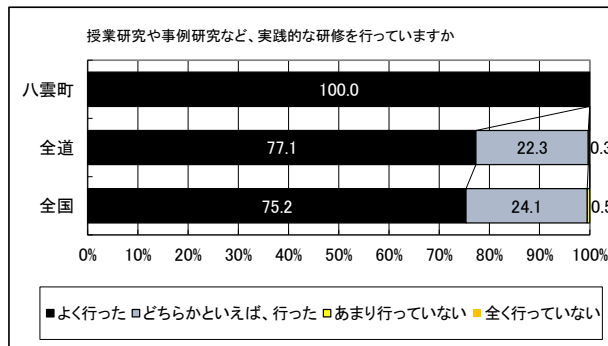
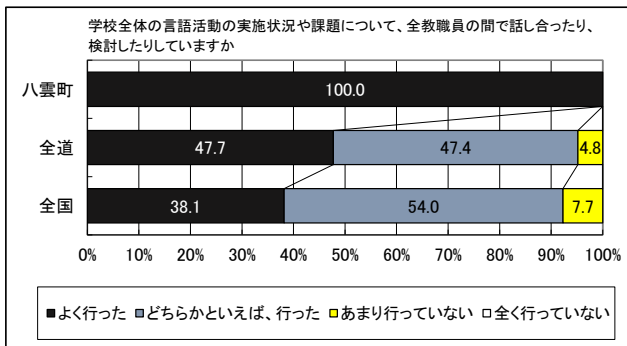
## 【児童質問紙調査の推移】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討した結果、授業内に話し合う活動が位置付き、自分の考えを深めたり、広げたりすることができ、児童の学習意欲の向上につながっていると考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する機会を授業に位置付けた結果、児童の学習意欲が高まり、学力の向上につながったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行った結果、授業改善が推進したと考えられる。</li> </ul>

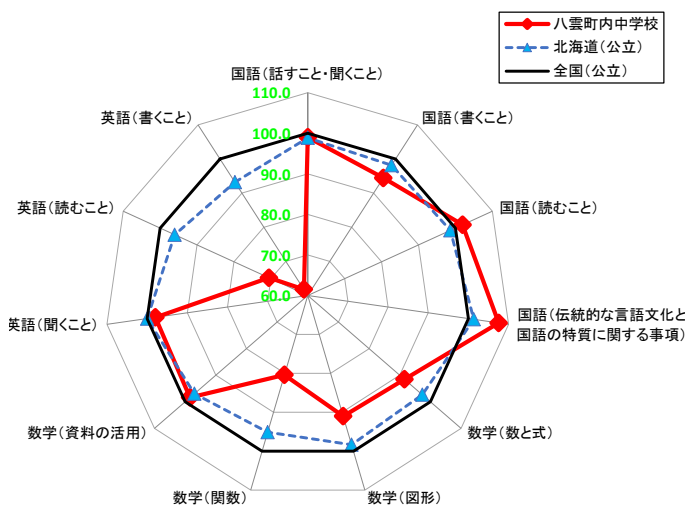
## 【八雲町の学力向上策】

- ◎ 八雲町確かな学び推進会議による各校の課題に応じた学力向上策の提示と各校における共通理解の徹底
- ◎ 八雲町教育課程編成会議による小中9年間を見通した課題解決の方策の教育課程への位置付け

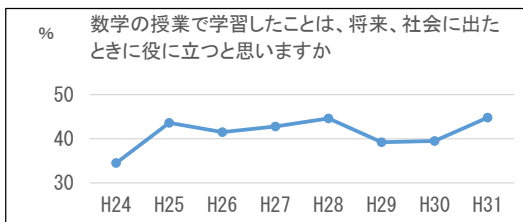
# ■八雲町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:116人)

## 【教科全体の状況】

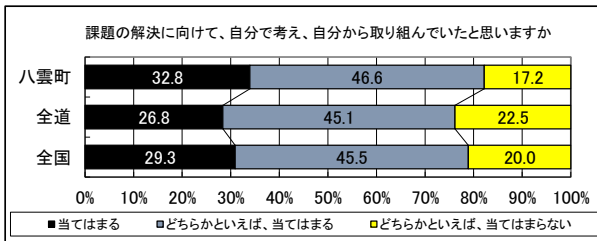
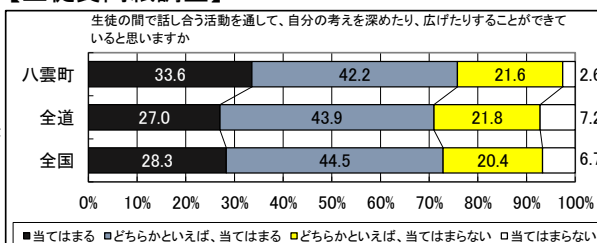
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



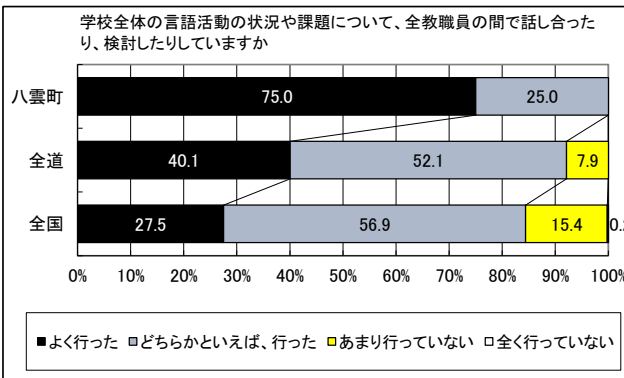
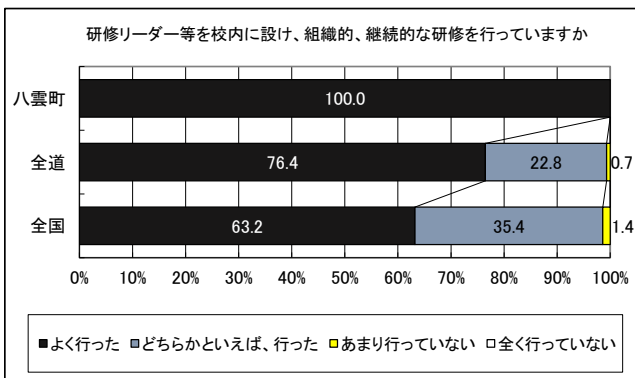
## 【生徒質問紙調査の推移】



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学では、「資料の活用」で全国と最も近くなっている。</li> <li>○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員で話し合ったり、検討したりした結果、授業に話し合う活動が適切に位置付けられ、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒が増加し、基礎的・基本的な学力の定着に結び付いたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組ませる指導を行った結果、生徒の学習意欲や思考力が高まり、学力の向上につながったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行った結果、授業改善が促進されるとともに、授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていこうとする学習意欲の向上に結び付いたと考えられる。</li> </ul>

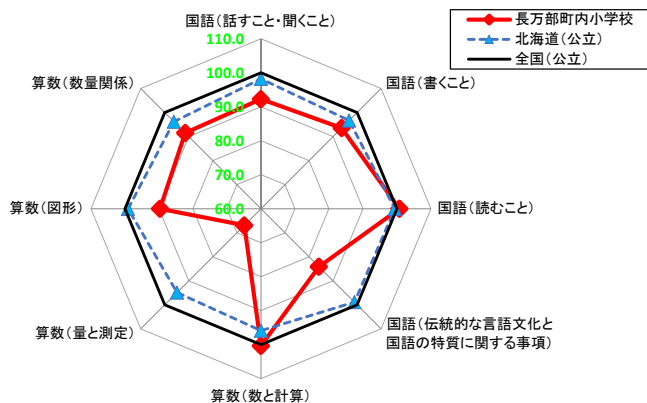
## 【八雲町の学力向上策】

- ◎ 八雲町確かな学び推進会議による各校の課題に応じた学力向上策の提示と各校における共通理解の徹底
- ◎ 八雲町教育課程編成会議による小中9年間を見通した課題解決の方策の教育課程への位置付け

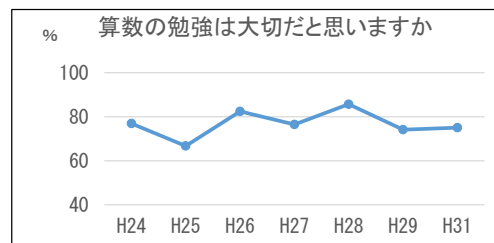
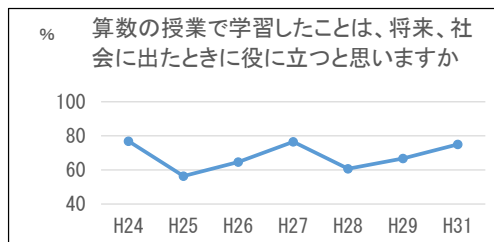
# ■長万部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:32人)

## 【教科全体の状況】

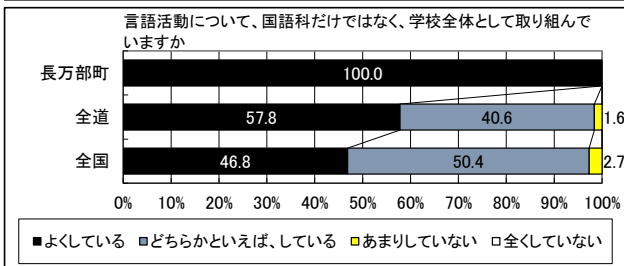
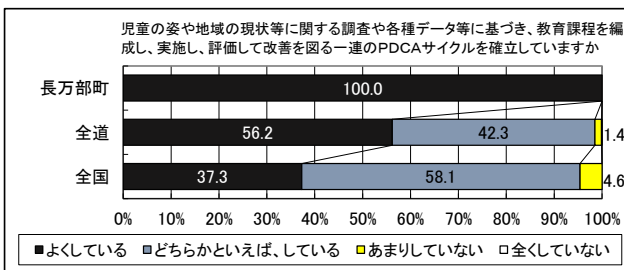
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



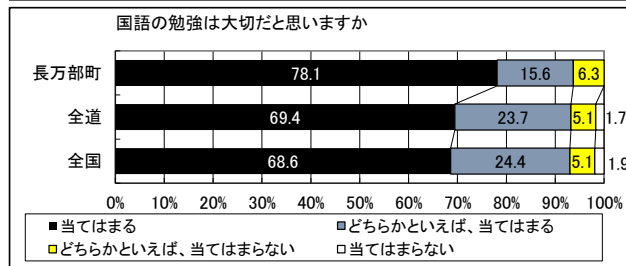
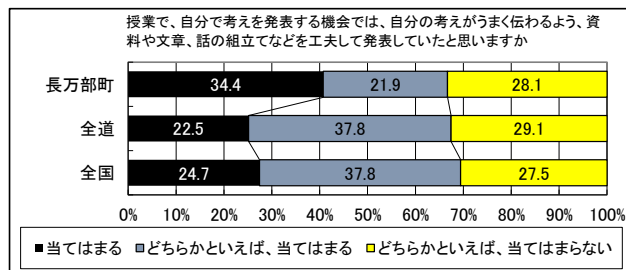
## 【児童質問紙調査の推移】



## 【学校質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数では、「数と計算」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、各学校で授業改善が推進され、国語では「読むこと」、算数では「数と計算」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動について、国語科だけでなく学校全体として取り組んだ結果、児童の間で話し合う活動が適切に位置付けられ、自分で考えを発表する機会が、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する児童が増加し、児童の学力向上に結び付いたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。</li> <li>○ 全ての学校が、言語活動について、国語科だけでなく学校全体として取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT機器などの学習環境の整備を推進した結果、児童が学習意欲を高め、学習したことが将来、役に立つと思う児童が増加したと考えられる。</li> </ul>

## 【長万部町の学力向上策】

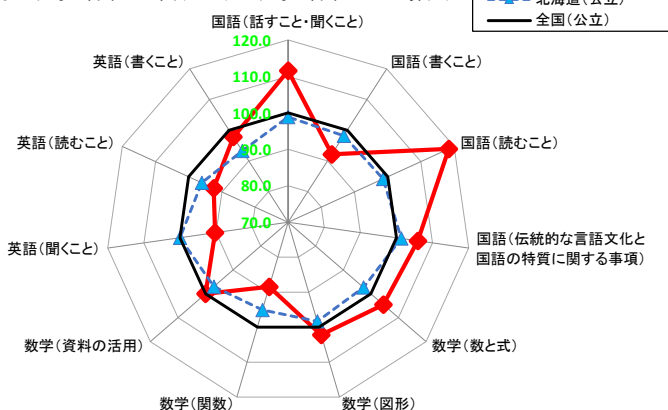
- ◎ 児童生徒の発達の段階に応じた指導の専門性を高め、小・中・高連携を推進するための長万部教育連携会議の開催
- ◎ 家庭学習の意識化・習慣化に向け、学校及び保護者が一体となった「家庭学習強調週間」の推進
- ◎ 児童の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践するためのICT機器等の充実による学習環境の整備
- ◎ 学校運営協議会を活用した地域住民の学習ボランティアによる長期休業中や放課後の補充的な学習サポートの充実

# ■長万部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:23人)

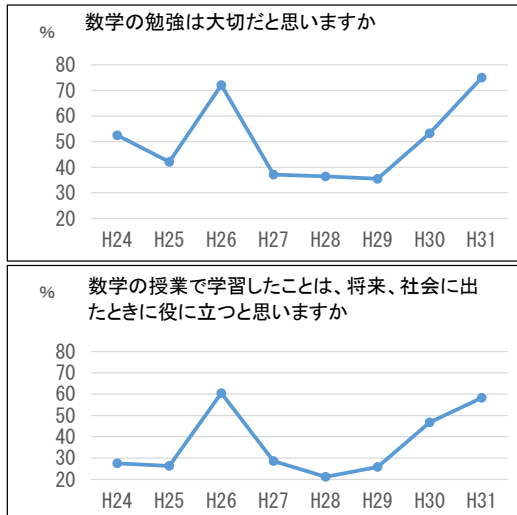
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

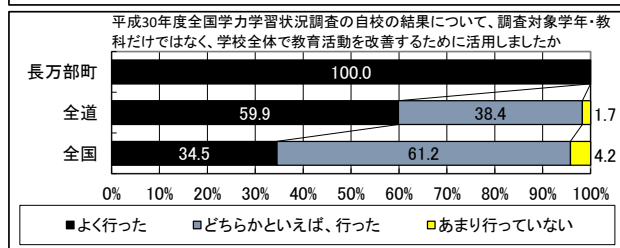
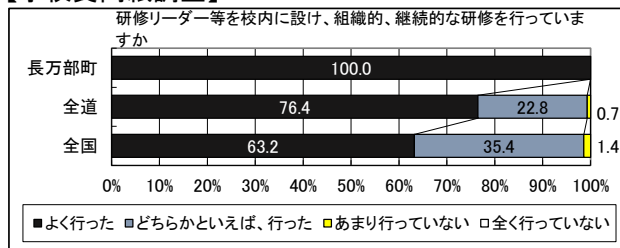
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



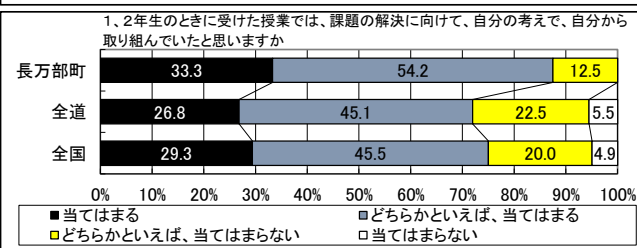
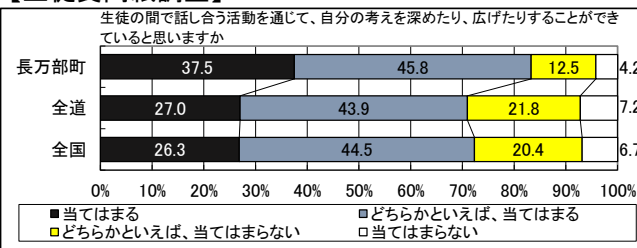
## 【生徒質問紙調査の推移】



## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語において、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学では、「数と式」「図形」で全国を上回り、「資料の活用」で全国と同じである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した結果、授業改善が促進され、国語、数学において、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行った結果、生徒の間で話し合う活動が適切に位置付けられ、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う生徒が増加し、生徒の学力が定着したと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後の補充的な学習サポート等を充実させた結果、学習は大切であるという思いや、将来、役に立つと思う生徒が増加したと考えられる。</li> </ul>

## 【長万部町の学力向上策】

- ◎ 児童生徒の発達の段階に応じた指導の専門性を高め、小・中・高連携を推進するための長万部町教育連携会議の開催
- ◎ 家庭学習の意識化・習慣化に向け、学校及び保護者が一体となった「家庭学習強調週間」の推進
- ◎ 生徒の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践するためのICT機器等の充実による学習環境の整備
- ◎ 異校種の教員等の学習ボランティアを活用した長期休業中や放課後の補充的な学習サポートの充実